

日頃のご理解とご協力に 心より感謝申し上げます

「東通原子力発電所の防護設備の性能試験等の未実施及び不適切な試験記録等作成」に係る改善措置活動の取り組み状況について

昨年11月に公表した東通原子力発電所の防護設備における不適切事案について、地域の皆さまにご心配とご不安をおかけしておりますことを、改めてお詫び申し上げます。

社長をトップとした全社体制のもとで改善措置を策定し、現在は、その実施計画（アクションプラン）に基づき、順次取り組みを進めております。

一例として、経営層が原子力発電所の業務実態や課題を直接把握し、所員と双方向で認識を深めることを目的に、定期的な対話を実施しております。

改善措置を確実に・継続的に実施していくことで、同様の事案を二度と発生させないよう、再発防止を徹底してまいります。

発電所の取り組み状況について、引き続き、さまざまな機会を通じて丁寧にお伝えし、地域の皆さまからの信頼回復に努めてまいります。



樋口会長から発電所員への訓示
(3月12日)



石山社長と核物質防護課員との対話
(4月23日)

根本原因分析の結果や改善措置活動の計画は、改善措置報告書として取りまとめ、当社ホームページにて公開しております→



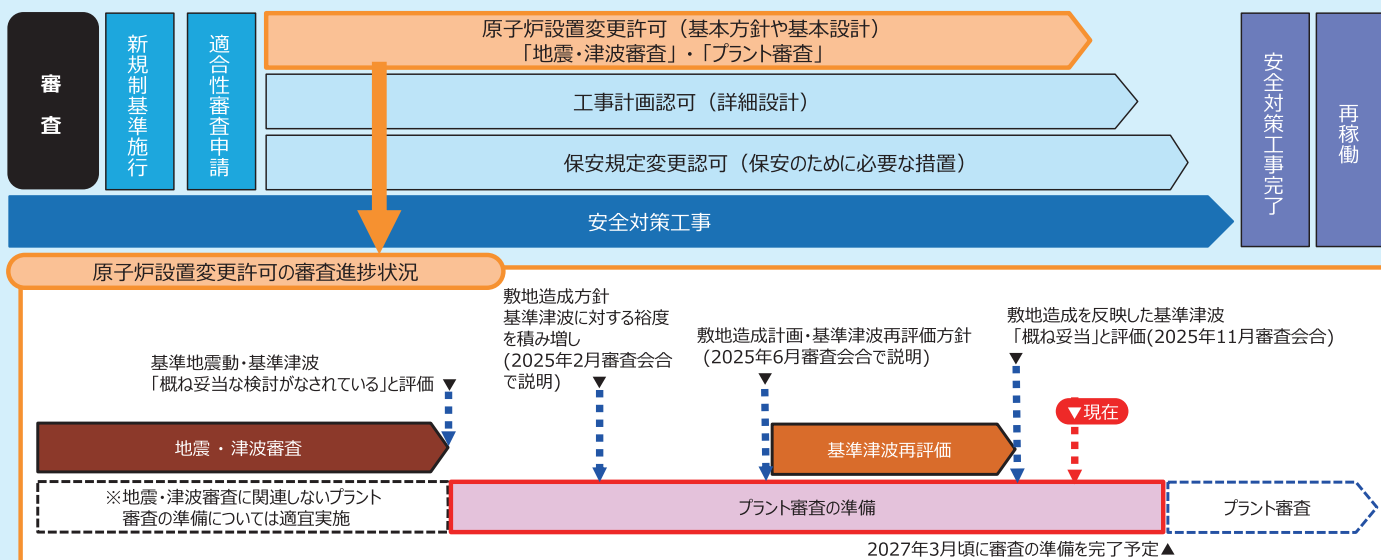
東通原子力発電所1号機 新規規制基準適合性審査および安全対策工事の状況について

東通原子力発電所1号機については、新規規制基準への適合にとどまらず、さらなる安全レベルの向上を着実に進め、地域の皆さまからのご理解をいただきながら、準備が整った段階での再稼働を目指しております。現在は、当社女川原子力発電所での審査経験者に加え、プラントメーカーからの支援者の受け入れなどにより、人員・技術の両面で体制を強化し、新規規制基準適合性審査に対応するとともに、安全対策工事を進めております。

至近の主な対応状況については、以下のとおりです。

- ✓ 基準津波に対する裕度を積み増すため敷地造成を実施することとし、基準津波の再評価結果について、昨年11月の審査会合にて「概ね妥当」との評価をいただいております。再評価の結果、津波の遡上高さは12.1mから12.4mに見直しましたが、プラント全体での津波に対する裕度は、0.9mから1.8mへと増加し、裕度が積み増されることを確認しました。
- ✓ また、安全対策設備について、原子炉建屋・タービン建屋などの周辺および敷地造成エリアへの設置を想定し、配置計画や設備仕様の検討を進めています。これら踏まえ、敷地造成と干渉する既設建物や設備について、移設・撤去などの準備工事を順次実施しています。

この敷地造成計画を前提としたプラント審査の準備作業をしっかりと前に進め、2027年3月頃には安全対策工事の完了時期を確実にお示しできるよう、全力で取り組んでまいります。



～ 地域の皆さまから信頼される発電所を目指して ～

これからも、当社および構内協力企業が一丸となって、発電所で働く一人ひとりが東通村のさらなる発展に貢献できるよう行動してまいります。地域の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「東北電力 あがさいホール」は、おかげさまで4周年を迎えました

2022年3月に開設した「東北電力あがさいホール」は、おかげさまで4周年を迎えました。これもひとえに、地域の皆さまの温かいご支援とご協力の賜物です。

今後にもぎわい、交流、そしてたくさんの笑顔が生まれる場所を目指し、地域の皆さまと一体となったイベントを開催してまいります。

カラフルクラブ



大もちつき大会
(2026年1月24日)



空へとばそう！
スカイスクリュ、フライングカイト
(2026年4月18日)

地域を知る活動



べこもち教室
(2025年12月7日)



そば打ち教室
(2026年3月8日)

その他のイベントなど



あがさいホールで
メリークリスマス！
(2025年12月21日)



あがさいホール
4周年記念イベント
(2026年3月22日)



2025年度も、当社主催のイベントを
数多く開催しました

営業運転開始から 20 年を迎えました

東通原子力発電所 1号機は、2005年12月8日の営業運転開始から、20年を迎えました。

引き続き、安全確保を最優先に、一つひとつのプロセスにしっかりと対応するとともに、地域の皆さまに当社の取り組みを丁寧にお伝えしながら、発電所で働く全従業員が一丸となって再稼働に向けて全力で取り組んでまいります。



発電所を支えていただいた構内協力企業の
皆さまに感謝状を贈呈しました
(2026年5月)

